

ご意見・ご要望を
お寄せください

日本共産党 区議会報告

発行:日本共産党品川区議団
2009年8月号
発行責任者:宮崎 克俊
TEL.5742-6818(直通) FAX.3778-3088
http://www.jcp-shinagawa.com/

「昨年暮れから仕事はパツタリ…」工務店の社長さん 中小業者の仕事確保を! 日本共産党が提案



建設4組合のみなさんと懇談(7月16日)

南品川3丁目の工務店の社長さんは「昨年暮れから仕事はパツタリなくなった。一年前と比べて仕事量は3割、公共工事はまったくとれない。近所の工務店が倒産して今度は自分か…」と心配しています。

7月16日、区内建設4組合(南部建設技能組合・建設ユニオン城南支部・東京土

「これまで経験したことがないほど深刻」と中小業者は口をそろえます。長引く不況に加えて昨年来の金融不況が追い打ちとなりました。品川の経済を支える事業所の99.8%は中小企業、そこに労働者の88.3%が働いており、中小企業支援の強化は緊急課題です。日本共産党は、建設組合や商店街の方々と懇談、行政への要望を伺うとともに支援策を提案しています。

建品川支部・東京都建設組合と共産党との懇談では、組合役員さんから建設業の倒産は前年比17.3%も増加、建設組合が毎年実施しているアンケートで95%の人が「生活が厳しい」と回答しており、「生きるか死ぬか」というところまで追い込まれている仲間も少なくありません」と、行政として仕

事確保をすすめてほしいと訴えました。建設業者の仕

日本共産党は、公共事業を生活密着型として、特養老人ホームや保育園の増設をすすめること。「2015年までに90%の住宅耐震化」の目標を具体化し推進することなど、建設業者の仕事確保の角度からも区に提案してきました。これは、区民の願いでもあります。

懇談では、建設組合から「小さな工事や修理をまとめて入札するようになったら大手が仕事を持って行ってしまふ。小さな仕事はそのまま発注してほしい」、「低価格競争で下請けや現場労働者の労賃が安く、後継者も育たない。公共工事では労賃を

事をどう確保し支援するのかが問われています。

保証してほしい」、「アスベストの除去や『封じ込め』は費用がかかり補助金を出してほしい」など要望が出されました。日本共産党は、要望に応えるため全力で奮闘します。

商店街は「引き続き装飾灯の電気代補助を」

年収200万円に満たない商店が増加しているなど、不況下経営はたいへん。品川区商店街連合会からは、今年引き上げられた装飾灯の電気代補助を来年以降も継続してほしいなど要望が寄せられました。

装飾灯の電気代補助は、昨年の懇談で要請を受けて

日本共産党が議会で取り上げてきたもの。今年から補助が2倍に増額されました。しかし、江戸川区では全額補助しており、品川区は23区でも高くありません。しかも、防犯灯の役割を考えれば電気代を行政が負担するのは当然です。

消費税の増税反対 日本共産党

- 目次
- P2 P3 ●教育改革の真摯な検証を「たまゆら」を繰り返すな
 - 核兵器廃絶へ品川区も行動を中央環状高速道路品川線
 - P4 ●年金から住民税まで天引きに保育園つくつての運動広がる
 - 新型インフルエンザ対策

製造業支援で緊急提案

日本共産党は製造業支援の緊急策として、①大企業の発注停止や下請け代金切り下げをやめさせる。②新製品・新技術開発の委託研究制度創設と販路拡大の支援。③貸工場への家賃助成。④中小企業の「製品発表会」開催、海外見本市出展の支援。⑤無利子・長期貸し付け資金、「緊急休業補償制度」創設を提案しています。